

学校の怪談におけるトイレの怪異

—昭和から平成を中心として—

大島 万由子

はじめに

口承文芸のひとつ「世間話」に分類されるものの中に、「学校の怪談」と呼ばれるものがある。「学校の怪談」とは、主に学校を舞台とした怪異譚や怪異体験談のことを指す。今回は研究史を踏まえながら「学校の怪談」の中で特に多く報告される「トイレの怪談」を中心として、トイレ環境や社会状況との関係を考察する。

松谷みよ子氏の『現代民話考Ⅱ学校』で「怪談」の章に収録されている事例は四三二事例ある。そのうち、トイレに関係する怪異は一〇四事例あり、章の約四分の一を占めている。全体的に「学校の怪談」は、普通教室よりも特別教室や放課後の教室など、学校空間において児童・生徒が生活している空間と少し離れた場所を舞台として語られる怪談が多いことが指摘されている。その中でも「トイレの怪談」の多さは注目に値する。

学校の怪談のトイレの怪異については、過去に常光徹氏をはじめとした、多くの研究者によって怪談の発生や変化について論じられてきた。

では、今日の「トイレの怪談」はどうかになっているのだろうか。今日に至るまで、学校のトイレは日々変化してきている。具体的に言えば、学校のトイレも洋式便所が一般化し、環境整備や美化が進められているのが現実である。過去に「トイレの怪談」が盛んに報告された頃と、トイレの環境は大きく異なると言える。それにもかかわらず、なおも「学校のトイレの怪談」は子どもたちの間で語られ続けている。加えて、現代の語りは、メディアからの影響を考える必要がある。実際、「学校のトイレの怪談」では、「トイレの花子さん」という怪異がメディアに多く取り上げられたことにより、多くの語りに登場している。本論文では、学校のトイレをとりまく環境の変化と「学校のトイレの怪談」の関係、また、現代の語りにメディアの影響が「学校のトイレの怪談」に大きく関わる可能性を探る。

一、「トイレの怪談」の概要

(一) 学校のトイレの怪談の先行研究

本章では、本研究に関係する先行研究をあげ、疑問点を確認し、学校トイレの略史をたどる。本節では先行研究をあげ、そこから今日の「学校のトイレの怪談」を考える上での新たな疑問点を探し出す。

まず、常光徹氏は「学校の世間話」⁽²⁾でトイレの孤立した空間の中で、陰部を露出状態のままがむという、動物としての人間の弱点をさらけ出した姿勢が不安を誘っていることを指摘し、その不安心理が、便所の観念にはいりこんでいると述べた。また、学校トイレで喫煙や落書きなどの非行が発生しやすいという点から、トイレの怪談の発生を論じた。常光氏の論文では、当時の学校のトイレが和式であったこともあり、便所の怪談は和式便所特有の「しゃがむ」という行為そのものが「不安」と繋がったように解釈することができる。しかし、今日の洋式便所が一般化した学校の中でも同じことが言えるのか、というところが疑問になる。

次に久保田優子氏は「学校のトイレと怪談」⁽³⁾で学校のトイレが校舎の北側などの周縁部分に位置することや、子どもたちによるトイレへの印象や使い方、「トイレの花子さん」との関わり方について指摘している。さらに、学校のトイレは子どもたち

を開放し、談笑する中で怪談が語られるとした。また、学校トイレの周縁性と衛生問題を解消し、子どもたちのトイレへのイメージが変われば怪談はなくなっていくと述べている。この論文で久保田氏は「トイレの花子さん」が、女性の自意識や社会進出と関連づけて印象が変わっていると述べている。それと同様に、改修工事により学校のトイレの衛生・採光問題が改善されただけで、学校のトイレに怪談がなくなっていくとは言い切れないのではないかと考えることができる。

これらの新たな疑問点をもつて、次節で学校のトイレと怪談の略史の確認を行う。

(二) 学校トイレの怪談の略史

本節では、学校の怪談に関する先行研究に挙げられていた事例と、私が二〇一六年から二〇一九年四月までに収集したものを、語られていたとされる年代の早いものから順に並び替えた表1を確認する。この表により、時代ごとの「トイレの怪談」に特色とトイレに関する出来事が、おおまかではあるものの把握することが出来た。

まずは昭和期のトイレの怪談について確認する。表1の前半部分(1〜60番)までになる。「問答形式」という欄は、「赤色と青色どちらがいいか」と尋ねられ、答えを迫られる怪談を指す。その中の「紙」というものは紙の選択を迫られるもの、「服」というものはマントやちゃんちゃんこなど服の選択を迫られる

ものになり、それ以外のものは「他」に分類した。次の「出現正体」は怪談の中で怪異の正体が明らかになっているものを記載した。また、「手が出る」「声がする」などはその次の「出現形態」に分類した。

昭和期の怪談は、「尻を触られる」や「手が出る」などの話が多く確認できる。柳田國男のいう「便所の怪異は廁神の零落した姿」の流れを汲んでいることがわかる。学校のトイレの怪談にも、江戸頃まで各家の便所の怪異として盛んに語られていた昔話に多く見られる河童の悪戯の名残や畏怖の念などが残っていることがわかった。

また、この表からは「問答形式」のなかの「紙」にまつわる怪談が目立つ。この怪談は昭和十八年（一九四三）に最初の報告がある。このころから、日本は戦争の影響で資源不足になり、「トイレ関連情報」の欄にあるように、チリ紙の生産が落ちていく。尻を拭くために、新聞紙などを切って尻拭きに使用したり、代用として木などを使用した。戦後、復興し、昭和三十五年（一九六〇）にトイレレットペーパーが日本で本格的に生産開始された。徐々にトイレレットペーパーが普及していく中で「紙」が意識され、「紙」の怪談は最盛期を迎える。昭和四十八年（一九七三）のオイルショックのトイレレットペーパー騒動後に数を減らしている。

次に平成期のトイレの怪談について確認する。表1の後半部分、事例番号61が昭和と平成をまたぐ事例になっている。平成

期の事例のうち、約半数の事例（昭和期に二事例も該当する）が「トイレの花子さん」に関する怪談であった。話が戻るが、昭和五十二年の事例四十八番が「トイレの花子さん」の最も早い報告となる。昭和期は「出現正体」に、様々な怪異が語られていた。しかし、平成期の多くは「トイレの花子さん」に集中しているのは注目すべき点だといえる。

そもそも「トイレの花子さん」とは、どのような存在なのか。『日本怪異妖怪大事典』によると、「学校のトイレに現れるとされる女の子の怪異であり、一定の方法で呼び出すと現れると言われている」とされている。実際に、事例の中でも「何回ノックすると出現する」や「声をかけると出現する」と言われている。しかし、近年の事例に呼び出し方法が語られているものは少なく、ただ「花子さんがでる」といった、存在だけ語られることが多くなった。

また、平成期は学校建築のなかで「トイレの改修工事」が行われ始めたことも「学校トイレの怪談」を考えるうえで重要な出来事になる。トイレは校舎の北に突き出され、学校の周縁的位置に設置されるのが戦後の学校建築の標準的な設備であった。日本住宅公団が昭和三十四年（一九五九）に洋風便所の隅付タンクタイプを、昭和四十二年（一九六七）に洋風便所の密結タンクタイプのトイレを採用した。それをきっかけに、洋風便所が家庭用トイレで普及した。昭和五十五年（一九八〇）頃から、公衆便所、商業施設、駅などの公衆トイレ改善が進む一方、学

校トイレは取り残された。その後、昭和六十年（一九八五）に当時の文部省が「教育方法等の多様化に対応する学校施設の在り方」について総合的な検討を始めた。トイレについては「生活・衛生設備の充実に配置する」とどまっていた。これを受けて学校のトイレ設備の遅れについて、平成元年（一九八九）頃から新聞・雑誌などが取り上げるようになる。この流れから、本格的に学校トイレの変革が起きたのは十年ほど後からになる。平成八年（一九九六）十一月にトイレ関連企業により「学校のトイレ研究会」が発足した。翌平成九年（一九九七）に日本トイレ協会が、「学校トイレの設備と子どもの健康」と題する学校トイレフォーラムを開催した。文部科学省は平成十二年（二〇〇〇）に大規模改造事業の中に、学校トイレ改造も位置付けた。平成二十三年（二〇一一）には「トイレ発！明るく元気な学校づくり！学校トイレ改善の取り組み事例集」を発行し、トイレ改修を推進した。しかし、同年三月の東日本大震災の影響で、学校建築では耐震化が重視されたために、トイレの改修はすぐには進まずにいた。近年は耐震化の工事も終わり、多くの学校がトイレの快適化をめざし、改修が行われている。

学校建築において、従来の学校トイレは「暗い・汚い・臭い（3K）、怖い・壊れている（5K）」と言われてきた。教育社会学者の四方氏の調査によると、「トイレ改修工事」の際に、デザイン案や設備案を生徒自身に考えさせ、改修に生徒を関わらせるといふ学校が多い。また、改修されたトイレが壊されるなど、

トイレで非行が発生した場合、「怒りの署名運動」と呼ばれる活動や、生徒自身で修理費用募金などを行ったという事例も報告されていた。「参加型のトイレ改修工事」は児童・生徒の学校への帰属意識を持たせる効果があると指摘されている。

その一方で四方氏は、「トイレ改修工事」は「トイレを、明るい学校の中心部にする」ことに対し、トイレという学校の周縁的領域を中心に部に移動してしまうことで、生徒の均一化、生徒の多様性を無視してしまうことになる可能性を指摘した。

二、トイレ環境の変化とトイレの怪談

（一）調査の概要

前章では、学校トイレの怪談とトイレ環境の変化の略史を確認した。本章では、トイレ環境の変化とトイレの怪談の関係を、実際の調査を通して探っていく。以下のデータは、千葉県にある公立小学校の卒業生、二つの世代を対象とし、調査したものである。調査で聞き取った全てのデータを載せることは難しいので、一部を抜粋して紹介する。調査対象者が卒業した我孫子市立並木小学校は、昭和五十年代に開校された、市内でも比較的新しい小学校である。開校当時から水洗式の和式便所で、平成二十二年（二〇一〇）七月にトイレ改修工事し、和式メインのトイレから洋式メインのトイレになった。資料（図1、2）は、改装工事中に生徒だった卒業生に書いていただいた図を参

考にしたものである。

その生徒らから聞いたトイレへの印象は、和式トイレの頃は「暗くて、天気の良い日は湿気がひどい」というマイナスのものであった。洋式トイレがメインに改修された後は、ベンチなどが作られたことを指し「授業休み時間の溜まり場」になったと話していた。

トイレが児童・生徒の「溜まり場」であることや、教師の目から離れた解放が感じられる場であることは、先行研究で指摘されている。しかし、リフレッシュの場として、好意的な意味での「溜まり場」となっていることは、近年の新しい学校トイレの一面だと言える。

(二) 平成十九年度(二〇〇七) 卒業生への調査結果

まず、平成十九年度(二〇〇七) 卒業生への調査結果を報告する。平成十九年度卒業生は小学校六年間ずっと和式トイレで学校生活を送っていた。

まずアンケート調査を行い、十五名(男性九名/女性六名)に回答していただいた。そこから詳しい話を聞くため、インタビュー調査に切り替え、男女各一名から話を伺った。

アンケートの中で「トイレの花子さん」に関する回答が多かった。それに対して「花子さんを何で知ったか」という質問をしたところ、「漫画やアニメで知った」というものが目立った。しかし最も多かった回答は「友達や兄弟から聞いた」というもの

であった。当時、「花子さん」はメディアからの情報としても、口頭のコミュニケーションでも語られていたことがわかった。

また、学校で不可解なことが起きて話題になると「全部花子さんのせい」といわれており「かわいそうだと思った」という話も報告された。

続いて行ったインタビュー調査で、男子児童だった方の話で「花子さんは女子トイレに出る女の子の幽霊だと思っていた」ことから、自分たちには直接関わりがないと思っていたという話を聞くことができた。さらに、その男子児童であった彼にとつて「怪談話は一種のコミュニケーション」で「事実かどうかさほど重要ではない」と話しており、盛り上がるための一つの話題にすぎなかったことが考えられる。

一方、女子児童だった方の話では、実際に「花子さんがいるか確かめに行った」という話を聞くことができた。個人差もあるが、男女の間でもとらえ方に差があることがわかった。

(三) 平成二十六年(二〇一四) 卒業生への調査結果

次に平成二十六年(二〇一四) 卒業生への調査結果を報告する。平成二十六年卒業生への調査では、平成十九年度卒業生の調査を受け、インタビュー調査に切り替え、女子五名に協力していただいた(一回目二名、二回目四名:一回目の一人重複)。

彼女らの語りの中にトイレの花子さんの容姿に関するものはなかった。しかし、二回目の調査で、想像している「花子さん」

を書いてもらうと、驚くことに「白いシャツに赤いスカートでおかつぱ頭」というような、ほとんど共通する容姿であることが確認された。

トイレの改修工事前と後で出現するとされる個室を確認したところ、図1、2の丸印の「洋式トイレの隣の和式トイレ」から「和式トイレの隣の洋式トイレ」になっていた。トイレの内部的変化はありながらも、空間の変化は見られなかった。

また、インタビューのなかで「男子も男子トイレに花子さんが出る言ってパニックになっていた」と、男子児童も恐れるようになっていたことがわかった。

さらに小学校に伝わるトイレの花子さんの怪談で「足が速くてマッハ三秒で走る」と語られていた。それに対し話者自身が「口裂け女みたい」と感じており、他の怪談話との混同と混同の自覚が見られた。

以上の調査から、トイレが改修工事され、イメージが変わった後も、「学校トイレの怪談」は語り続けられていることがわかった。そのなかでも怪異の空間的な変化は見られず、性格的な変化を見つけることができた。

三、メディアに見られる「トイレの花子さん」

(一)「トイレの花子さん」の容姿の変遷

本章では、メディアの中の「トイレの花子さん像」の変遷を

探る。

語りの中では、「トイレの花子さん」は容姿について言及したものがほとんど見られなかった。しかし、想像する容姿を絵に描いていたいたところ、多くの共通点(白いブラウス・赤いスカート等)があつた(収集した七十八事例のなか、六十一事例がこの容姿だつた)。また、容姿に違いがあつても、かなり「トイレの花子さん」の具体的に描かれており、「トイレの花子さん」像がそれぞれのなかで明確に想像されていることがわかった。

また、「トイレの花子さん」出現すると語られている場所(または個室)については、各学校や噂をする集団で異なり、それはトイレにとどまらないこともあつた。そして、調査のなかで「アニメやマンガでトイレの花子さんを知った。だから自分の学校のトイレにも花子さんがいると思つていた」という話を多く聴取した。今日の学校の怪談を理解する上で、メディアの影響を考慮することが重要であるといえる。

これらのことから、本節ではメディアの中の「トイレの花子さん」の容姿の変遷を表2の「容姿」の欄に注目して分析をする。髪型は「おかつぱ頭」であるか、服装は「シャツ」(シャツ+スカート)であるかが分析の指標である(表2)。

平成五年(一九九三)以前の「トイレの花子さん」(事例1、2、3)は容姿に一定のイメージは無く、様々である。平成五年以降以降は「おかつぱ頭・シャツ(ブラウス)・スカート」という容姿が増加してくる。この表2では二十四事例(事例4、

5, 6, 7, 9, 10, 12, 13, 14, 18, 20, 22, 24, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 36, 37)がこのタイプになっている。本論文ではこれを、トイレの花子さんの「主流タイプ」と呼ぶ。この「主流タイプ」は次第に定着していった。従って「トイレの花子さん」の容姿のイメージに多く報告された姿がこの「主流タイプ」になったと考えられる。

また、近年はファッションを重視したものやアイテムの装着が見られる。事例27はロリータ・ファッションの「トイレの花子さん」になっている。ロリータ・ファッションは平成十六年(二〇〇四)五月に公開された獄本野ばら原作の映画『下妻物語』で急速に知られるようになったものである(八幡・渡辺二〇一三)。八幡茉莉子、渡辺明日香の整理によれば、「ロリータ・ファッションのブランドは二〇〇〇年代初頭は、ビジュアル系バンドへの衣装提供が盛んであったが、二〇〇〇年代中頃より、アイドルへの衣装提供が盛んになる。『Angelic Pretty』は中川翔子やAKB48へ衣装提供をしている。アイドルへの衣装提供により、テレビや雑誌といったメディアに露出する頻度が増加し、ビジュアル系バンドとの関連が強かったアンダーグラウンドなイメージのファッションから、アイドルやポップ・カルチャーのイメージがミックスされるようになった」とされ、ロリータ・ファッションがメディアからの影響で一般化していく中で、女子の関心の持つファッションとなっていく流れがあったことがわかる。すなわち、女子に関心のある事柄が「ト

イレの花子さん」にも反映されたと思なすことができよう。さらに事例5, 29, 31, 32の「トイレの花子さん」にはアイテムの所持やアクセサリーの着用が見られる。

平成十年(一九九八)以降は「主流タイプ」の「おかつぱ頭」もしくは「シャツ＋スカート」を残しつつ、作品によって「トイレの花子さん」像の差別化が図られている(事例16, 17, 21, 25, 2(8, 19同様)。平成二十七年(二〇一五)以降は「主流タイプ」から完全に離れるのが目立つ。「トイレの花子さん」が男性になっているなど、パロディ化の傾向が見られる(事例34, 35)。

(二)「トイレの花子さん」の描写法の変遷

「トイレの花子さん」の容姿の変化に伴って、描写法も徐々に変化している(表2)。本節では、表2の「タイプ」の欄に分類した「トイレの花子さん」の描写方法に注目して分析を試みる。「攻撃」タイプは人を驚かせる・人を殺すなど危害を加えるもの、「友好」タイプは主人公や人に友好的であったり悪の怪異と戦うなどの人間寄りとして描かれているもの、「パロディ」タイプは「おなじみ」の怪異と紹介されているものや、そこから「誰も恐れなくなった」や「忘れ去られた」怪異として登場しているものを指す。

メディアに「トイレの花子さん」が登場して以来、平成十年(一九九八)頃までは人間に害をあたえる、恐ろしい敵側の存在として描かれており、この「攻撃」タイプが最も多くみられた

(事例1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 12, 13, 14, 15, 16, 19, 20, 26, 30, 36)。

ところが平成六年(一九九四)以降は、敵側から人間の味方になる「トイレの花子さん」や、初めから人間に友好的な、「友好」タイプの「トイレの花子さん」が登場した(事例9, 10, 11, 17, 18, 21, 23, 24, 25, 27, 33, 35, 37, 38)。「友好」タイプの登場として考えられる要因の一つが「トイレの花子さん症候群」(松本ら一九九七)である。トイレの花子さん症候群とは、尿意があってもトイレの花子さんが怖くてトイレに行くと膀胱が委縮してしまい、排泄しにくくなるといったものである。このことから、トイレの花子さんが(学校の中の)社会問題になっており、学級文庫など子供の手の届きやすい児童文学やアニメーション作品のなかで「攻撃」タイプのような危害を加える存在として描かれなくなったと考えることができる。

さらに時代が下った平成二十一年(二〇〇九)以降は「おなじみ」や「忘れられた」など、人間たちから特別に意識されなくなった「パロディ」化された存在として描かれているものがある(事例22, 28, 29, 31, 34, 35, 37, 38)。飯倉氏は「妖怪マンガは世につれ 世は妖怪マンガにつれ—妖怪マンガの変遷とその時代—」で「妖怪マンガ」の人間と妖怪のかかわり方同様、怪異としての性格よりも、娯楽化されたキャラクターとしての性質が強くなっていることを指摘している(飯倉二〇一〇)。「トイレの花子さん」も同様に変化してきている。

しかし、「トイレの花子さん」は、「学校の怪談」の一つであり、一般的な「妖怪」とは異なる。実際に調査の中では「トイレの花子さん」が怖くてトイレに行くのが怖かったなどという話も多かった。「トイレの花子さん」や「学校の怪談」は子どもと怪談の関わり方を考えることが重要になる。

ここまでの分析で、「トイレの花子さん」の容姿や性格は一時期に固定され、「おかつぱ頭・シヤツ・赤いスカート」で「攻撃」的な主流タイプが出来上がった。その後、恐怖の対象というよりも「友好」的なタイプが確立し、近年は容姿や描写に新たな解釈が加えられていることがわかった。

おわりに

本論文では、トイレの環境の変化と学校のトイレの怪談の関係や、メディアと学校のトイレの怪談の関係を探った。

環境の変化とトイレの怪談では、昭和期で「紙」に関係するトイレの怪談が紙不足による不安心理と関係している可能性を探り、平成期で怪談と学校建築との関係に注目した。

また、現代の「学校の怪談」語りについて、「トイレの花子さん」を素材とし、調査を行った。その結果、メディアの中で描かれた「トイレの花子さん」像が、語りの中でもその容姿として想像されることが明らかになった。そして、メディアで見られたものが語りの中に入り込んでいく場合、メディアをそ

のまま受け入れられるのではなく、各々の学校のトイレに合わせ、受け入れられやすいかたちに変化を加えられながら、現在もなお語られ続けていることがわかった。

今後は実際に学校に行き、新しい時代のトイレ環境や学校環境とトイレの怪談の関係について調査を進めたと考えている。

注

- (1) 本論文の「メディア」という語は、子どもが触れる可能性の多い「児童書」、「マンガ」、「アニメーション」、「実写作品」などの創作色の強い作品を指す。
- (2) 常光徹「学校の世間話―中学生の妖怪伝承にみる異界的空間―」『昔話伝説研究』十二 一九八六 昔話伝説研究会
- (3) 久保田優子「学校のトイレと怪談」飯島康夫・池田哲夫・福田アジオ編『環境・地域・心性―民俗学の可能性』二〇〇四 岩田書院
- (4) 丸っこになっっているものは、話が語られていた詳しい年が確認できず、収集をしたと書かれている年になっている。

参考文献

- 浅野弘光『厠考―基礎文化の崩壊―』一九九二 教育出版文化協会
飯倉義之「妖怪マンガは世につれ 世は妖怪マンガにつれ―妖怪マンガの変遷とその時代―」『子どもの文化』四十二号 二〇一〇 文民教育協会子どもの文化研究所
飯島吉晴『電神と厠神―異界と此の世の境』一九八六 人文書院

飯島吉晴「学校の怪談」『子供の民俗学』一九九一 新曜社

岩倉千春「トイレの花子さん」小松和彦編『日本怪異妖怪大事典』

二〇一三 東京堂出版

一柳廣孝「学校の異界／妖怪の学校」小松和彦編『妖怪文化の伝統と創造―絵巻・草紙からマンガ・ラノベまで』二〇一〇 せりか書房

川島理想「変貌する「トイレの花子さん」像」『世間話研究』

二十三 二〇一五 世間話研究会

久保田優子「学校のトイレと怪談」飯島康夫・池田哲夫・福田アジオ編『環境・地域・心性―民俗学の可能性』二〇〇四 岩田書院
四方利明「学校の建築と教育学校化・教育革新・境界人」二〇一八 阿吽社

高橋敏弘「妖怪雑考(八)」『西郊民俗』一三二 一九九〇 西郊

民俗談話会

高橋敏弘「山形の噂一観」『西郊民俗』一三九 一九九二 西郊民

俗談話会

常光徹「学校の世間話―中学生の妖怪伝承にみる異界的空間―」

『昔話伝説研究』十二 一九八六 昔話伝説研究会

常光徹「学校の怪談―口承文芸の展開と諸相―」一九九三 ミネ

ルヴァ書房

日本トイレ協会『トイレ学大事典』二〇一五 柏書房

降井直人「現代人と世間話―トイレの怪談を中心にして―」『山

陰民俗研究』六 二〇〇一 山陰民俗学会

松谷みよ子「現代民話考 第二期 II 学校笑いと怪談」一九八七

立風書房

松本成史・島田憲次・細川尚三・松本富美「トイレの花子さん」症候群の2例：Nongenitropic neurogenic bladder (Hinman 症候群)の初期像?」『泌尿器科紀要』四十三 一九九七 泌尿器科紀要刊行会

八幡茉莉子、渡辺明日香「ロリータ・ファッションのルーツ：1980年代以降のストリートファッションに着目して」『共立女子短期大学生生活科学紀要』五十六 二〇一三 共立女子短期大学生生活科学科

(おおしま・まゆこ)／國學院大學博士課程(前期)

鏡	流し	和式	和式	和式	洋式
		和式	和式	和式	

図1. 改装前の並木小学校の女子トイレ (~2009)

鏡	流し	洋式	洋式	洋式	和式
		ベンチ	洋式(車いす用)	洋式	

図2. 改装後の並木小学校の女子トイレ (2010 ~)

【表1】学校トイレの怪異とトイレに関するできごと

年	S	問答形式			出現正体	出現形態			出典	トイレ関係情報
		紙	服	他		手	音声	他		
1.	S10				赤子	○			松谷	
2.	S10		○						松谷	
3.	S10						○		松谷	
4.	S12,3				青坊主				松谷	
5.	S13					○			松谷	
6.	S17				青坊主				松谷	ちり紙生産高 69017 トン
7.	S17,8				おぼけ				松谷	
8.	S18	○							松谷	ちり紙生産高 3000 トン減。減少傾向
9.	S18	○							松谷	
10.	S18,9								松谷	
11.	S19,20						○		松谷	ちり紙生産高 30000 トン減。大幅減少
12.	S20		○						松谷	ちり紙生産高 23000 トン減。大幅減少
13.	S20								松谷	
14.	S20								松谷	
15.	S20						○		松谷	
16.	S20					○			松谷	
17.	S20-29	○							松谷	
18.	S22						○		松谷	ちり紙生産高 3000 トン減。4487 トン。最低値
19.	S22			○					松谷	
20.	S23				花子	○			松谷	
21.	S23								松谷	
22.	S24	○					○	○	松谷	
23.	S24				女				松谷	
24.	S25				少女		○		松谷	
25.	S25				赤マント				松谷	

26.	S30								松谷		
27.	S30	○							松谷		
28.	S30-35			死体			○		松谷		
29.	S33						○	○	松谷		
30.	S34						○	○	松谷		
31.	S35								電気	松谷	トイレの量的整備促進 学校のトイレは北の周縁的な場所に設置
32.	S38-43			おぼけ						大島	トイレトペーパー規格制定 (S37)
33.	S40			火の玉 / 人影			○			松谷	
34.	S40									松谷	
35.	S40	○								松谷	
36.	S40			女の子			○	○		松谷	
37.	S40	○					○			松谷	
38.	S43-48						○			大島	洋風便所が家庭で普及しはじめる
39.	S43-49	○								松谷	
40.	S45-51	○								松谷	
41.	S46									髪	松谷
42.	S48						○			松谷	オイルショック (トイレトペーパー騒動)
43.	S48			老婆						松谷	
44.	S49			三時婆			○			松谷	
45.	S49						○			松谷	
46.	S49									松谷	
47.	S50			つば姫			○	○		松谷	
48.	S52			花子						松谷	トイレトロール紙が主流になる
49.	S54,55			紫の婆						常光	公衆トイレ改善が進む
50.	S54-59		○							常光	
51.	S54-59	○								常光	
52.	S54-59		○							常光	
53.	S54-59						○			常光	
54.	S54-59						○			常光	
55.	S54-59			紫婆						常光	
56.	S54-59			紫色の婆						常光	
57.	(S54-59)									墓石	飯島
58.	S55-61			花子						松谷	
59.	S58,9	○								常光	
60.	S59			紫婆						常光	
61.	S60-H2	○								大島	文部省「教育方法等の多様化に対応する学校施設の 在り方」検討開始。「生活・衛生設備の充実に配置」 学校トイレ設備の遅れを新聞・雑誌が取り上げる
62.	H1			花子						降井	
63.	H1			花子						降井	
64.	H2									鏡	飯島
65.	H2			たらちゃん						飯島	
66.	H2			花子						高橋	
67.	(H2)			花子						飯島	
68.	(H2)									扉	飯島
69.	(H2)			ドラキュラ						飯島	
70.	(H2)						○			飯島	
71.	(H2)							○		飯島	
72.	(H2)						○			飯島	
73.	(H2)						○			飯島	
74.	(H2)									鍵	飯島
75.	H3			3本足のリカ						降井	
76.	H4			花子						高橋	
77.	H4						○			高橋	
78.	H4			女						高橋	
79.	H4			怪物						高橋	
80.	H3-8			花子						大島	
81.	H5			テケテケ						降井	
82.	H5,6	○								降井	

83.	H5-10					○			降井	
84.	H5-10								鏡 降井	学校のトイレ研究会発足
85.	H9								鏡 降井	日本トイレ協会 学校トイレフォーラム
86.	H9			婆					降井	
87.	(H9)			花子					久保田	
88.	(H9)			花子					久保田	
89.	(H9)			花子					久保田	
90.	(H9)			花子					久保田	
91.	(H9)			やみこ					久保田	
92.	(H9)			花子					久保田	
93.	(H9)			花子					久保田	
94.	(H9)			花子					久保田	
95.	(H9)		○	花子					久保田	
96.	H10			リリー					降井	
97.	H10					○			降井	
98.	(H11)		○			○			降井	
99.	(H11)			紫婆					降井	
100.	(H11)			女					降井	文科省は大規模改造事業 (H12)
101.	H14			花子					大島	
102.	H14,15			メアリー					大島	
103.	H14-19			花子					大島	
104.	H14-19			花子					大島	
105.	H14-19			花子					大島	
106.	H14-19			花子					大島	
107.	H14-19			花子					大島	
108.	H20-22			リリー					大島	
109.	H20-25			花子					大島	学校トイレ改善の取り組み事例集発行、改修を推進 (H23)
110.	H20-25			花子					大島	
111.	H20-25			花子					大島	
112.	H21		○	花子					大島	
113.	H21-26			花子					大島	
114.	H24-26								流水	永島
115.	(H27)			○○さん						永島
116.	H30			おぼけ						大島

事例資料

松谷みよ子「現代民話考Ⅱ 学校」／常光徹「学校の世間話—中学生の妖怪伝承にみる異界的空間—」／飯島吉晴「学校の怪談」／降井直人「現代人と世間話—トイレの怪談を中心にして—」／久保田優子「学校のトイレと怪談」／高橋敏弘「妖怪雑考 (八)」、「山形の噂一観」／永島大輝「聞いてみた」学校の怪談・俗信」／大島インタビュー 収集 2016～2019年

【表2】メディアに見られる「トイレの花子さん」像

	発表年	容姿			タイプ			タイトル・書名	出典
		おかつば	シャツ	備考	攻撃	友好	パロ		
1.	H2	記載×			○			学校の怪談 (1)	文庫本 (児)
		○	○						
2.	H4	表紙) × ○1、×4	表紙) × ×5		○			3ばんめのトイレに花子さんがいる!?	単行本 (児)
3.	H5	○1、×6	○1、×6		○			キミの学校のこわ〜い話 トイレの花子さん	文庫本 (児)
4.	H5	○	○		○			かけつづロリ きょうふのサッカー	単行本 (児)
5.	H6	表紙) ○ ○3	表紙) ○ ○1、×2		○			誰もいない学校の恐怖 トイレの花子さん	文庫本 (児)
6.	H6	○	○		○			カラー版 幽霊画談	新書

7.	H6	○	○		○			地獄先生ぬ〜べ〜	マンガ
8.	H6	表紙) ○			○			3ばんめのトイレに花子さんがいる!?	文庫本 (児)
9.	H6~7	○	○		○			『花子さんがきた』	アニメ
10.	H6~8	○	○		○			『花子さんがきた!! 学校のコワイうわさ』	文庫本 (児)
11.	H7	表紙) ○ 実態無し	表紙) 影		○	○		トイレの花子さん	実写映画
12.	H7	○	○		○	○		木曜の怪談花子さんの探しもの	実写ドラマ
13.	H8	○	○		○			地獄先生ぬ〜べ〜	アニメ
14.	H9	長髪	○		○			恐怖校舎トイレの花子さん	実写ビデオ
15.	H10	表紙) ○ 実態無し	表紙) 着物		○			新生トイレの花子さん	実写映画
16.	H12~13	○	ワンピース		○			学校の怪談 (原作: 講談社『学校の怪談])	アニメ
17.	H16~21	○	着物		○			学校の怪談	マンガ
18.	H18~26	○	○		○			新花子さんがきた!! 学校のコワイうわさ	文庫本 (児)
19.	H18	○	○		○			学校の怪談 3ばんめのトイレに花子さんがいる!?	文庫本 (児)
20.	H19	長髪	○		○			学校の都市伝説 トイレの花子さん	実写映画
21.	H20~21	○	着物		○	○		ふしぎ通信トイレの花子さん	マンガ
22.	H21~	○	○		○	○		境界のRINNE	マンガ
23.	H21	長髪	○		○			トイレの花子さん	マンガ
24.	H 2 2 ~ 23	○	○		○			学校のコワイうわさ 新・花子さんがきた!!	アニメ
25.	H23~24	○	制服	スマホ		○		ハナコ@ラバトリー	マンガ
26.	H23	○	○		○			学校の怪談 閉ざされた旧校舎	単行本 (児)
27.	H25~	○	○	ロリ		○		亡霊クラブ怪の教室	文庫本 (児)
28.	H25~	○	○			○	○	妖怪ウォッチ	アニメ, マンガ, ゲーム
29.	H25~	○	○	髪飾り		○		『怪談オウマガドキ学園』	単行本 (児)
30.	H25~	○	○		○			10分で読めるもっとこわい話	単行本 (児)
31.	H25~	○	○	眼帯		○		十四代目トイレの花子さん	アイドル
32.	H26~29	○	○	煙草		○		怪談イズデッド	マンガ
33.	H26	○	○			○		地獄先生ぬ〜べ〜	実写ドラマ
34.	H27~	短髪♂	制服♂			○	○	地縛少年花子くん	マンガ
35.	H27~	長髪♂	軍服♂			○	○	幽玄ロマンチカ	ドラマCD
36.	H28	○	○		○			おばけのポーちゃん (4)	単行本 (児)
37.	H28	○	○			○		トイレの花子さん新章~花子vsヨースケ~	実写映画
38.	H28.12~	長髪	制服			○	○	華子さんとメリーさん	マンガ

(容姿) ・「おかつば」: おかつば頭…○、その他…記述 or ×
・「シャツ」: シャツ+スカート…○、その他…記述 or × (描かれ方)
(描かれ方) ・「攻撃」: 人を驚かせる・殺す等、危害を加える
・「友好」: 人に友好的・怪異と戦う等、人間寄り
・「バロ」: おなじみ・忘れられた等、バロディ化